

宇都宮市立宝木小学校第5学年【理科】分類・区別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	物質・エネルギー	71.9	70.8	69.5
	生命・地球	73.3	71.5	70.8
観点	科学的な思考・表現	75.0	72.8	71.7
	観察・実験の技能	64.8	67.8	66.8
	自然事象についての知識・理解	74.7	72.3	71.4

★指導の工夫と改善

○良好なもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	<p>○「空気と水の性質」の領域は、正答率が82.9%と、県平均と比べて6.8ポイント高い。</p> <p>○「空気や水を温めたときの体積の変化」や「金属を温めたときの体積の変化」を問う問題は、県平均と比べてそれぞれ6.9ポイント、5.0ポイント高い。</p> <p>○「水は熱せられた部分が上方に移動して温まること」を問う問題は、正答率が92.6%と高く、県平均を11.8%上回っている。また、「教室の上と下の温度の違いが熱せられた空気の移動によること」を説明する問題は県平均よりも11.1ポイント高い。</p> <p>○「水が氷になると体積が増えること」を問う問題は、県平均よりも13.8ポイント高い。</p> <p>●「金属、水、空気と温度」に関して、「アルコールランプの使い方」については、県平均を21.9ポイント、「様々な形状の金属を熱したときの温まり方」については、県平均を7.1ポイント下回っている。</p> <p>●「水が沸騰した時に出てくる泡が水蒸気であること」を問う問題については、正答率が44.4%と低く、県平均を6.6ポイント下回っている。</p>	<p>・アルコールランプやガスコンロなど、学習に利用する器具の扱い方については、普段の学習の中で適宜繰り返し確認しながら指導していく。</p> <p>・金属を熱したときの温まり方や水が沸騰した時に出てくる泡が水蒸気であることを知る学習においては、教科書や視聴覚教材等を用いて復習させ、定着を図っていく。</p>
生命・地球	<p>○「季節と生物」の領域については、正答率が86.7%と高く、県平均よりも5.7ポイント上回っている。</p> <p>○「身の回りの生き物の冬のようす」を問う問題や「植物の種類による冬のようすの違い」を問う問題は、ともに県平均を8.7ポイント上回っている。</p> <p>○「時間ごとの気温の変化からその日の天気を推測する」問題は、県平均を5.3ポイント上回っている。</p> <p>●「人と体のつくりと運動」の領域については、県平均を5.1ポイント上回っているが、正答率は44.4%と低い。</p> <p>●「ヒトの体のつくりを理解して背中を丸く曲げることができる理由」を言葉で説明する問題は、県平均よりも11.8ポイント上回っているが、正答率は38.9%と低い。</p> <p>●「1ヶ月後の月の形」を問う問題は、正答率が35.2%と低く、県平均も1.3ポイント下回っている。</p>	<p>・「生命・地球」の分野においては、「ヒトの体のつくりと運動」や「月と星」の領域で学力の定着度が低いところが見られるので、教科書や視聴覚教材の資料を見せながら視覚的に理解させていく。</p>